

**「EV 充電サービス CHARGE CONNECT（チャージコネクト）・  
 EV 充電課金システム プラットチャージ」の  
 ホームページをリニューアルし、EV ステーション運営コストが確認できる  
 「カンタン・収益シミュレーション」などを追加しました。**

南海電設株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：大前良平、以下南海電設）が提供する EV 充電サービス「CHARGE CONNECT（チャージコネクト）」・EV 充電課金システム「プラットチャージ」のホームページをリニューアルし、EV ステーション運営コストが確認できる『カンタン・収益シミュレーション』のページなどを追加したことをお知らせいたします。



<ホームページのリニューアルに伴い追加したページ>

- ① 充電器の設置を検討されているオーナー様向けのページ  
 「サービスフロー・導入の流れ」「充電器設置後のサービス概要」「カンタン・収益シミュレーション」
  - ② 販売店様・工事店様向けのページ「充電課金システム プラットチャージについて」
  - ③ 充電器利用者様向けのページ「充電器ご利用の流れ」
- など、それぞれのお客様に合わせたページを追加しております。

『カンタン・収益シミュレーション』では、4つの質問「Q1：設置予定の充電器の台数」「Q2：充電器の利用料金※」「Q3：充電器の1日の利用想定時間」「Q4：ご契約中の電気料金（円/kWh）」にお答えいただくだけで、EV ステーション運営をシミュレーションできます。



## カンタン・収益シミュレーション

以下の項目を入力するだけで  
EV充電課金サービスを1年間運用した場合の収益がわかります。

EV 充電器を設置する施設は、集客力の向上、また滞在時間の増加により売上の上昇につながる効果が期待できます。一方、EV ステーションを運営していくには、運営コストを把握することが課題となります。今回新たに追加した弊社ホームページの『カンタン・収益シミュレーション』を利用すれば、EV ステーションの運営コストを把握できるだけでなく、他社サービスとの比較検討、また「充電器を何台設置することがベストか」などの判断にもご利用いただけます。

※ 弊社課金システム「プラットチャージ」では、充電器の時間当たりの利用料金は、オーナー様が自由に設定できます。

<令和4年度補正・令和5年度当初予算で実施している充電インフラ整備事業について>

日本では「2035年までに、乗用車新車販売で電動車100%を実現」の目標を掲げ、充電インフラについては「公共用の急速充電器3万基、普通充電器12万基設置」の目標※を掲げていました。この目標に向けて今年度のEV充電インフラ整備事業補助金は、昨年度と比較し3倍程度の約175億円の補助金が準備されましたが、申請受付開始からたった3ヶ月で予算額を超過し、早期に受付終了となりました。

(※2023年8月28日、経済産業省は従来目標である15万基から2030年までに2倍の30万口に引き上げる整備指針案を公表しました。)

EV充電器導入拡大を受け、補助金活用で設置を検討されるオーナー様は、各社サービスの比較や選定、導入台数の検討、また現地調査の依頼などを今年度中におこなっていただくことがEV充電器設置へ向けた第一歩になります。是非CHARGE CONNECTへご相談ください！

### ● EV充電サービス「CHARGE CONNECT (チャージコネクト)」の特徴

EV充電器の販売から設置工事、補助金申請サポート、キャッシュレス課金サービス、設置後の修理対応までがパッケージ

### ● EV充電課金システム「プラットチャージ」の特徴

EV充電器に貼られたQRコードをスマホで読むだけで様々なスマホアプリ決済からクレジットカードまで幅広い手段でのキャッシュレス利用料金支払いを実現

1. 専用アプリのインストール※1や会員登録不要。誰でもその場でキャッシュレス支払い。
2. 支払方法は、主なスマホアプリ決済をカバーしているほか、クレジットカードにも対応。
3. シンプルかつ低コストで課金運用が可能。ユーザー様が支払う利用料から決済手数料※2を除いた約96%がオーナー様の収入となり、ここから、月額サービス料金2,970円/台(税込)(2023年9月30日までにご契約いただいたお客様へ向けたサービスオープン記念価格、通常価格は3,960円)

円/台(税込))と電気代を支払った残額がオーナー様の収益。時間当たりの利用料金はオーナー様が自由に設定可能。

4. 購入した時間の途中で充電をやめれば残額が返金され、1分単位の課金、クルマに合わせて充電出力を 3.2kW と 6kW が選べる※3 など、ユーザー様は使った分だけのお支払い。

※1 スマホアプリ決済を使う場合はそのアプリのインストールが必要です。また、SafariやChromeなどの標準webブラウザが必要です。※2 決済手数料はブランドにより3.24~3.6%です。※3 6kW充電器の場合は6kWか3.2kWかが選べます。3.2kW充電器では3.2kWコースのみです。また、3.2kWと6kWでそれぞれ時間当たり利用料金を設定できます。6kWで充電するには車両側がそれに対応している必要があります。日産サクラや三菱ekクロスEVは2.9kWまでの出力対応です。

CHARGE CONNECT、プラットチャージは南海電設株式会社の登録商標です。Pitは日東工業株式会社の登録商標です。QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。Safariは、Apple Inc.の登録商標です。Chromeは、Google LLCの登録商標です。

- EV充電サービス「CHARGE CONNECT (チャージコネクト)」「プラットチャージ」についてのお問い合わせ先  
南海電設株式会社 ソリューション営業課 CHARGE CONNECT (チャージコネクト) 担当  
メールアドレス：info@ev-chargeconnect.com  
ホームページ：<https://www.ev-chargeconnect.com>

- EV充電器についてのお問い合わせ先  
日東工業株式会社 EVインフラ事業室 マーケティング課  
メールアドレス：ev.contactnet.mark@nito.co.jp  
EV用充電設備特設サイト URL：<https://www.nito.co.jp/quick/evstand/>

本ニュースリリースの内容は発行日時点の情報に基づくものであり、価格やサービス内容は予告なく変更する場合があります。

以 上